

むつみ

初 刊 発 行 日 平成 11年5月
 発 行 日 平成 22年3月25日
 発 行 所 社会福祉法人足利むつみ会
 住 居 所 栃木県足利市利保町49-4
 発 行 責 任 者 阿由葉 寛
 電 話 0284-43-0414 FAX 0284-41-4687

あいさつ

社会福祉法人足利むつみ会理事長 阿由葉 寛



昨年秋の政権交代により、社会福祉の分野も大きく変わろうとしています。昨年暮れに内閣総理大臣をトップとする、障がい者制度改革推進本部が立ち上がり、今年の1月12日には障害当事者を中心とする「障がい者制度改革推進会議」がスタートしました。今後、夏頃までに月2回程度の会議を開催し、論点の整理をしていく方針が示されています。

障害当事者の方々が加わり意見を出していくことはとても大切なことですので、期待をするところですが、反面、施設事業者からみると事業者団体は全く参加しておらず不安を感じるころもあります。また、自らの意見を出すのが難しい方たちの思いをこの会議に参加する当事者の方たちは本当に考えてくれるのかも不安があるところです。

私たちの役割は、この会議の状況をきちんと見守りながら、必要な意見を出せる仕組みを構築することではないかと考えています。



社会就労センター きたざと

きたざとでは、就労移行支援事業、就労継続支援事業B型、生活介護事業に取り組んでいます。

就労移行支援事業では、全利用者を対象とし、個人個人の特性に合った企業にて、実習を行いました。今年度では、現在トライアル雇用1名、就労者2名となっています。

就労継続支援事業B型では、ピーターパンの新規店舗移設を予定しており、ピーターパンとして新たなスタートを迎えようとしています。

下請け作業においても4月から新たにシュレッダー業務としてエコリサイクル事業部と称し、各企業、公共施設への出張細断、持ち込み細断に力を入れ、スタートへの準備を進めています。

生活介護事業では、利用者に合った作業提供を行っていきながら支援をしています。その方に合わせたプログラム作りなども行っていきながら、ご本人の意欲向上が出来るように環境作りを行っていきたくと思っています。

利用者のおふれる可能性を生かしながら笑顔の絶えない作業空間作りを目標とし、皆様の力をお借りしながらのスタートとなります。どうぞこれからも新たなきたざとへの一歩を見守っていただきますよう、よろしくお願いいたします。

※詳しい内容につきましては、施設までお問い合わせください。

施設長挨拶

社会就労センターきたざと施設長
阿由葉 寛

きたざとでは利用者の工賃アップを目指し、新規事業への取り組みを進めています。まず本年1月に栃木県から障害者自立支援基盤整備事業の補助金を受け、機密文書出張細断用の車両「エコポリスパン」を購入することが出来ました。これにより、下請事業部門の一部を「エコリサイクル事業」へと転換していきたくと思っています。関係者の皆様には機密文書を出張細断いたしますので、多くのご用命をいただければ幸いです。

もう一点は、ピーターパンの移設です。製パン事業を立ち上げ、お陰さまで美味しいパンとして好評を得ておりますが、施設内に売店があるために店舗販売での売上げが伸び悩んでいます。そこで、元学町に新店舗を立ち上げることにしました。新しい店舗はパンの販売だけではなく、喫茶部門を設け、たくさんの方々に気軽に利用していただけるよう考えているところです。また、それぞれの事業を進めるためにユニフォームを作成し貸与するなど、働きやすい環境への配慮も進めていきたくと思っていますので、よろしくお願いいたします。



〈エコポリスパン〉



〈ピーターパン新規店舗図〉

デイ・アクティビティーセンター 銀河

21年度活動報告



足利フラワーパーク



- 4月 お花見に行きました。
- 5月 「ふれあいのつどい」に参加
- 7月 「きたざと村の夏祭り」開催
- 9月 「シルバー大学作品展」見学
「中華料理生活衛生共同組合慰問」
ラーメンやカレーを作ってくださいました。
- 10月 「障害者スポーツ大会」に参加
「秋のふれあい運動会」に参加
「足利フラワーパーク」に行きました。
- 12月 「クリスマスパーティー」を行いました。
「クリスマス会」開催
- 1月 「新年会」午前 ばんな寺へ初詣
午後 和楽器演奏
「成人を祝う会」が行われ銀河からは2名、成人を迎えました。
- 2月 「節分の会」を行いました。

クリスマスパーティー



オカリナ演奏を聴いて
ケーキも食べたよ。



クリスマス会

「風になりたい」
「ミッキーマウス・マーチ」
を合奏

節分の会



歌を歌ってお面を作って
豆をまいて鬼退治!

家族会のご協力で瀧川佳宏さんを迎え
さまざまな和楽器にふれあいました

和楽器演奏



施設長挨拶

デイ・アクティビティーセンター銀河施設長、デイセンターWIN管理者 阿由葉 弘美

窓辺のやわらかい日差しの中、春の息吹を感じるこの頃。日頃より、御理解御協力をいただき心より感謝申し上げます。

銀河・WINは、昨年の4月より新しい利用者の方々を迎えて、新たな職員体制で1年が過ぎようとしています。利用者の皆さんそれぞれの目標に向け、個々の感性を最大限に生かし、その方らしく活動出来るよう職員一同、日々支援してまいりました。

時には、利用者の皆さんの笑顔に癒され、元気な姿に明日へのパワーをいただいているように思います。これからも心を入れて、利用者の皆さんの更なるステップアップに向けた支援をさせていただきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

デイセンターWIN



21年度活動報告

お花見に出かけました。



足利フラワーパークに行ってきました。



お弁当
おいしかったよ!

早く行こうぜ



ボランティアの皆さんによるオカリナ演奏



初詣、新年会

今年も
よろしく!

ばんな寺で初詣



クリスマス・パーティー



迫力の
和楽器演奏



セルプみなみ



施設長挨拶

セルプみなみ施設長 松本純幸

日一日と春の足音が聞こえてくるようになりました。

遠くに見える山々の風景も新緑に染まり生き生きと活動している様子が見て取れます。

4月からはセルプみなみの実習生として、今までの利用者の方々とも一緒に過ごしてきた人たちが施設を利用するものと思います。今後、障害者を取り巻く環境が大きく変化する兆しが見えて参りました。どのようになろうとも、私たちの出来る事はキチンとやり遂げる覚悟でございます。

今後とも皆様のご指導、ご協力を切にお願い申し上げますとともに、ご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、挨拶とします。

21年度活動報告

ハンガー洗浄作業



皆で助け合い協力しながら頑張っています。

布団カバー検品作業



間違いのないように一枚一枚確認しながら丁寧に作業をしています。

青空清掃作業



利用者・職員のみなさんに気持ち良く使ってもらえるよう清掃に励んでいます。

クッキー製造作業



美味しく食べてもらえるよう心をこめて一生懸命作業しています。

美味しいみなみのクッキー・マドレーヌ 大好評です。
お使い物にどうぞ！ よろしくお祈りします。

結婚式ラッピング



贈答用スイーツセット



その他いろいろご希望に合わせてラッピング・箱詰めができます。お問い合わせください。

特別養護老人ホーム 青空

施設長挨拶

特別養護老人ホーム青空 施設長 阿由葉 誠

春色のなごやかな季節、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。日頃は格別のお引き立てをいただき、ありがたく御礼申し上げます。昨年8月には第1回の青空祭を開催することが出来ました。ご利用者の皆様とご家族様の素敵な笑顔を拝見することができ大成功で終わることができました。これも、多くの皆様のお陰と深く感謝申し上げます。今後も2回、3回と毎年恒例の行事として企画してゆきたいと考えています。今年も楽しみにしてお待ち下さい。

青空は3年目に入る節目の年となります。ご利用者様のより一層の満足を目指し職員一同一丸となって努力していきたいと思っております。

最後になりましたが、今後もより一層のご指導とご協力くださいますようお願い申し上げます。

青空納涼祭

栃木県遊技業組合様から車椅子を2台ご寄付頂きました。当日は志賀産業の志賀会長と(株)両毛ヤクルトの相馬社長にお越し頂き、贈呈式を行いました。大切に使用させていただきます。



バイキング

寿司にぎり実演

そば打ち実演



文化祭



お花見外出



大正琴発表会



黒糖まんじゅう作り



マジックショー



クリスマス演奏会

21年度活動報告

青空もおかげで開所から3年目に入ります。以前から企画していた納涼祭を今年度実施することができました。利用者様、ご家族様と共に普段とは違う楽しい1日を過ごすことができました。ご協力頂いた多くのボランティアの方々のご支援ご協力の賜物と、篤く感謝申し上げます。

ユニットごとの活動も活発となり、様々なイベントや外出支援も充実して参りました。また、利用者の重要な楽しみのひとつである食事についても、そば打ち、にぎり寿司の実演やバイキング形式など、より喜んで頂けるような工夫を凝らしました。今後も利用者の皆様の楽しい生活の実現に、少しでもお役に立ちたく、職員一同取り組んで行きたいと思っております。

両毛圏域障害者就業・生活支援センター

21年度の取り組み

【交流会事業】

在職者を対象に、安定した就労生活を送るためのヒントや情報を提供できるような機会を設けました。

～身だしなみ講習～

資生堂宇都宮支店美容部担当の中塚講師を迎え、足利市市民会館会議室にてスキンケアについて勉強をしました。

普段使った事のない化粧品の使用に戸惑いながらも、スキンケアや整髪・メイクによって顔色が良くなったり、印象が変わる自分を楽しむ事が出来ました。講師の話の中で「身だしなみを整えることによって元気が湧いてくる」という言葉があり、今回の講習をきっかけに、身だしなみの意識と仕事への意欲が向上していけたらと感じました。

～ストレッチ講習～

5回にわたって足利市民体育館にてストレッチ講習を実施しました。講師は体育館館長が直々に指導して下さいました。

普段の生活の中で簡単に取り入れられる動きと、音楽やアロマを取り入れたリラクゼーション効果も図って頂きとても充実した良い講習になったと思います。今回の講習で覚えた動きを、今後も自分なりに活用して、体力作りストレスや疲労解消に役立てて欲しいと思いました。



【特別支援学校職業教育指導充実事業】

実際の職場で役立つ就労支援のアドバイザーとして、協力企業と一緒に特別支援学校の専門教科授業に参加しました。企業側は仕事におけるノウハウを、専門機関からは指示の出し方や作業手順の整理の仕方等をアドバイスして行きました。この事業を通して学校の授業だけでは見えてこない指導における課題が整理され、今後の専門教科や職場実習での指導に役立つ良い材料となったようです。また、当センターにおいても卒業生を引継ぐ立場から、学校との連携や情報共有の在り方について考える良い機会にもなりました。

【発達障害等支援・特別支援教育総合推進事業】

足利市特別支援連携協議会の就労期部会の一員とし、発達障害がある人が乳幼児期から成人期にかけて、その時期に必要な適切な支援をスムーズに受けられるための方法を考えて行きました。一時期だけの対応ではなく、将来の自立を目指してトータル的なサポート体制を取っていく事が重要となるため、節目節目で関わる学校や関係機関が、適切に状況等を引き継ぎ対応するための、相談支援ファイルの作成が現在進められています。

今年度行われた事業に関しては、引き続き来年度も実施する予定でありますので、各関係機関と協力しながらよりよいサービスを目指していきたく思っております！！

足利市真砂町1-1 栃木県安足健康福祉センター内 TEL: 0284(44)2268

足利障害者相談支援センター

今年度の事業報告

- ・通常の相談業務及び事業利用のためのプラン作成、申請の支援、年金・手帳等の各種申請支援の他、以下のような事業を行いました。
- ・個々のケースのケア会議主催。また、連絡調整会議を3回開催し困難事例等について検討を行なった。
- ・特別支援学校・小中学校特別支援学級の相談会・勉強会に相談員・講師として、在校生・親・担任教諭等に対する講義・相談。
- ・安足福祉センターや障害者団体教育関係等と協力し、研修会等を3回開催。
- ・教育機関と連携し、それぞれの成長過程における各段階を繋げるネットワークの構築を図り、発達支援シート・サポート手帳作成に協力。
- ・安足地区障害者相談支援事業者等連絡会に出席し、安足地区における指定相談支援事業所とも情報交換を行った。
- ・広報誌を年2回発行。
- ・地域自立支援協議会の運営に事務局として協力、地域生活、児童の3専門部会を設置し、問題提起を行った。
- ・とちぎリハビリテーションセンター、県南児童相談所の出張判定に協力。

困った時にはすぐご連絡を！

☎0284-44-0307 (電話相談24H、365日対応) 相談支援専門員 尾澤まで

日中一時支援事業 スマイル

障がい・年齢の枠にとらわれず、幅広い視野から地域で暮らす全ての方々の様々なニーズに対して心のこもったサービスを提供しています。

現在は学齢児の利用が多く、放課後や長期休みの日中支援の場として、日々の活動や家族の休息の場として、スタッフ一丸となって頑張ってきました。今年度の活動の様子の一部ですが、どうぞご覧ください。



放課後児童健全育成事業 ビタミンクラブ

今年度は足利市内の小中学生12名の方が利用されました。ビタミンクラブは知的な障がいを持った子供たちを、放課後や長期休みなどにお預かりしている学童クラブです。年間を通して様々なプログラムを組んで、お花見やピクニック・運動会・クリスマス会などを行い、利用者を預かっている間も楽しく過ごして頂けるようにしています。子供たちが安心してくつろげる場としてスタッフ一同頑張っています。



グループホーム・ケアホーム

防災対策のその後

前回の広報誌で、投げ込むタイプの消化用具【SAT119】と自動火災報知機をホーム内に整備したことをご報告しましたが、その後の対策がどうなっているのかをご報告させていただきます。

安全に避難できるようにすることを目指し、今年度は年4回の避難訓練の実施を目標とし、1月末で3回が完了しました。自動火災報知機も作動させて、様々な時間帯の想定で訓練を行ったところ、一人ひとりの特徴や避難誘導の注意点が分かってきました。また、訓練実施後に検討の機会を設け、改善点を話し合うなどして、安全な避難の為に改善を行っています。

簡単な様でいて、とても重要な訓練ですので、利用者の皆さんの笑顔を守るため、今後も継続していきたいと思えます。

※尚、投げ消しSAT119についてはきたざとで販売しています。



<お知らせ> 今年も夢大作さんから沢山のミカンとリンゴを頂きました。有り難うございました。

